

「プレーファスト」のお願い

全てのゴルファーに求められる最も重要なマナーの一つですので、具体的な実践事項をメモにまとめました。徹底をお願いします。

具体的な実践方法

プレーファストを実現するための具体的な行動として、以下をお願いします。

- ・ 準備ができた人から先に打つ「レディゴルフ」の活用：2019 年のルール改正により認められています。危険でなければ、本来の打順（遠球先打）を待たずに先に打つことを推奨します
- ・ 前の組との間隔があいてしまった場合には、同伴プレーヤーの了解のもと、ホールアウトしたプレーヤーから次のティーインググラウンドに向かい、オナーの順番にこだわらずに次のティーショットを準備する
- ・ 明球会の「ローカルルール」としてギブアップを定めます：各ホールで打数が規定打数の 3 倍に達するか超えそうな場合、ギブアップを宣言してそのホールのプレーを終了させる（スコアは規定打数の 3 倍とする）
- ・ ボールの行方を全員で確認：自分のだけでなく、同伴者のボールの行方も一緒に確認することで、ボール探しにかかる時間の短縮に努める
- ・ 打順が来る前に準備を済ませる：自分の番が来る前に、距離や風向などの状況を確認し使用クラブを決め、すぐに打てる状態にしておく
- ・ ホールアウト後は速やかに移動：グリーン上でスコアを記入せず、次のホールへ速やかに移動してから記入する

<参考>

クラブライフについて（東京ゴルフ倶楽部 フェロウシップ委員会）から抜粋
【PLAY FAST について】

3-3 東京ゴルフ倶楽部では、全組がハーフ 2 時間以内でプレーすることをモットーとしています。全組がハーフ 2 時間以内で回ることによって、当倶楽部伝統の 1 日 2 ラウンドの競技も円滑に運営でき、それ以外の多様なプレー・スタイル（朝から余裕をもった 1.5 ラウンド、ゆったり 1 ラウンド等）も可能になります。当倶楽部会員の特権である多様なプレー・スタイルを可能にするためにも、プレー・ファストを心がけましょう。